

国際オーソモレキュラー医学会 公式教育セミナー

栄養による治療 A to Z

受付開始 8:30

9:00~9:20 **開始挨拶** スティーブン・カーター 氏 <ISOM事務局長>

9:20~10:00 **「オーソモレキュラー医学による最新がん治療」**



柳澤 厚生 先生 <ISOM会長>

オーソモレキュラー(分子栄養)医学とは「体の中に自然に存在するビタミン、ミネラル、アミノ酸などを分子レベルで最適な量を投与して病気の予防と治療をすることである。講演ではこの分野におけるがん治療の最新トピックスを解説する。

10:00~10:20 **休憩**

10:20~12:00 **「オーソモレキュラー療法による風邪・インフルエンザの治療」**



アイリーン・バーフォード＝メイソン 先生 <Aileen Burfold-Mason PhD.>

個々の人間の免疫力は栄養状態を繊細に反映している。例えば、ビタミンDなどある種のビタミン不足は、特に冬場の気道の易感染性を引き起こす。そして感染によって誘導される免疫系の活性化は、抗酸化物質などの微量栄養素の必要性を高める。すなわち、免疫を調整する鍵となる微量栄養素を適切に投与することが、風邪とインフルエンザの予防ならびに有症状日数の短縮できる。

12:00~13:00 **ランチョンセミナー「脳腸相関ー腸から巡る脳のはなし」**



溝口 徹 先生 <新宿溝口クリニック院長>

日常診療でよく見かける疾患に、過敏性腸症候群などの自律神経失調症がある。そういった症状の発現に脳腸相関が重要な働きをすることが明らかとなってきた。日常診療へ生かせる機能性消化管障害とアプローチを取り上げる。

13:00~15:00 **「統合医療におけるうつ病～栄養療法を用いた治療戦略」**



ジェームズ・グリーンブラット 先生 <Dr. James Greenblatt>

うつ病に対する現在の治療モデルの限界を検討し、抗うつ薬の効果を補強する栄養療法を用いた治療戦略の研究を提示する。アミノ酸や葉酸、その他のビタミンを、うつ治療においてどう利用することができるかを主に扱う。また、抗うつ薬を次第に減らしていく際に、副作用を最小限にする安全手順についても言及する。

15:00~15:20 **休憩**

15:20~17:00 **「慢性疲労のための食事療法とサプリメントの使い方」**



アイリーン・バーフォード＝メイソン 先生 <Aileen Burfold-Mason PhD.>

慢性疲労は、クリニックで最も頻繁に遭遇する症状の一つである。ビタミンとミネラルは心身の能力を高いレベルに導く大切な触媒として働き、エネルギーの生成を含む全ての生理的代謝を最適化する。一方、砂糖とデンプン質の炭水化物(米、パンなど)を食べ過ぎると低血糖症を引き起こし、短期的にはエネルギーの低下と砂糖への欲求を生み出す。さらに長期的にはインシュリン抵抗性につながり、ビタミンとミネラルを蓄える能力を低下させて欠乏症を引き起こす。講演では、不適切な食事と一般的な栄養素の欠乏が慢性疲労の発症にどのように関わっているかについて解説する。

17:00~18:00 **情報交換会**

2013年 **10/13** (日)
9:00~18:00 (受付開始 8:30)

会場：**ベルサール三田**

対象 医師・歯科医師・医療従事者

定員 250名

参加費 ISOM会員 25,000円(税込)
ISOM非会員 40,000円(税込)
懇親会参加費 3,000円(税込)

一般 (ISOM非会員) は会員になることでこのセミナーに出席できます。一般は40,000円で、ISOMの年間会員登録費用を含みます。ISOMの会員登録を希望しない場合でもセミナー料金は同額です。

<ISOMの会員特典>

- 国際オーソモレキュラー医学会誌 (Journal of Orthomolecular Medicine) のWeb購読
- カナダで開催する学術集会の参加費割引 (2014年はバンクーバーで開催)

申し込み締切 2013年10月4日(金)

申し込み

WEBサイト(申込フォーム)、FAX(裏面参照)、のいずれかよりお申し込みください。

WEBサイト(申込フォーム)
http://ws.formzu.net/fgen/S10055588/



会場案内

ベルサール三田 〒108-6301 東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館1F

【URL】 http://www.bellesalle.co.jp/bs_mita/

【交通】「三田駅」A1出口 徒歩6分(三田線・浅草線)
「泉岳寺駅」A3出口 徒歩6分(浅草線・京浜急行線)
「田町駅」三田口 徒歩8分(JR線)



2013年10月13日(日)

国際オーソモレキュラー医学会公式教育セミナー 申込書

栄養による治療 A to Z

FAX返信先
03-6277-4004

■ご芳名	フリガナ	様	■称号 <input type="checkbox"/> M. D. (医師) <input type="checkbox"/> M. D., Ph. D. (医学博士) <input type="checkbox"/> D. D. S. (歯科医師) <input type="checkbox"/> D. D. S., Ph. D. (歯科医学博士) <input type="checkbox"/> D. V. M. (獣医師) <input type="checkbox"/> D. V. M., Ph. D. (獣医学博士) <input type="checkbox"/> その他 ()								
	氏名										
■クリニック名		職位 ()	専門科 ()								
■送付先住所 (勤務先・ご自宅)	〒	—	都道 府県								
■TEL番号 (勤務先・ご自宅・携帯)	()										
■FAX番号 (勤務先・ご自宅)	()										
<input type="checkbox"/> E-Mail	@										
<input type="checkbox"/> ご紹介者 (いらっしゃる場合)											
<input type="checkbox"/> お申込金額	<input type="checkbox"/> ISOM会員 25,000円 (税込、昼食、資料代込)	ISOMに入会選択が可能です。 <input type="checkbox"/> 会員登録する <input type="checkbox"/> 会員登録しない <small>※医師・歯科医師・獣医師は 同伴スタッフとして登録できません。</small>									
	<input type="checkbox"/> ISOM非会員 40,000円 (税込、昼食、資料代込)										
<input type="checkbox"/> 同伴スタッフ 25,000円 (税込、昼食、資料代込)											
<input type="checkbox"/> 懇親会参加費 3,000円 (税込)											
■お振込み名義	<input type="checkbox"/> ISOM会員 25,000円 (税込、昼食、資料代込)		【振込先】 <table border="1"> <tr><td>銀行名</td><td>みずほ銀行</td></tr> <tr><td>支店名</td><td>麻布支店</td></tr> <tr><td>口座番号</td><td>普通 1152485</td></tr> <tr><td>口座名義</td><td>有限会社メディカルリサーチトウエンティワンISOM</td></tr> </table> <small>※恐れ入りますが振り込み手数料はご負担下さい</small>	銀行名	みずほ銀行	支店名	麻布支店	口座番号	普通 1152485	口座名義	有限会社メディカルリサーチトウエンティワンISOM
	銀行名	みずほ銀行									
支店名	麻布支店										
口座番号	普通 1152485										
口座名義	有限会社メディカルリサーチトウエンティワンISOM										
お振込み予定日	□月 □日										
<small>※まことに恐れ入りますが、領収書は通常発行を省略しております。 金融機関の領収を持って代えさせていただきます。ご入金の際に領収書にかえてご利用下さい。</small>											

ジェームズ・グリーンブラット 先生

Dr. James Greenblatt

統合医療分野の先駆者であるジェームズ・M・グリーンブラット医学博士は、1988年から気分障害と複雑な摂食障害を持つ患者を治療してきた。統合医療の専門家として知られるグリーンブラット博士は、アメリカ各地で精神病における栄養学的介入に関する科学的証拠について講演している。彼の著作、『食欲不振の対処法 (Answers to Anorexia)』と『うつ病の革新的対処法 (The Breakthrough Depression Solution)』は、摂食障害と気分障害を持つ患者を治療してきた長年の経験と専門知識に基づいている。精神病の治療において相互作用する生物学、遺伝学、心理学、そして栄養学などの分野に関する知識があるため、グリーンブラット博士は一般消費者向けのテレビ番組や記事で多数のインタビューを受けてきた。グリーンブラット博士は、民間の統合精神医療機関である包括的精神医療リソース (Comprehensive Psychiatric Resources) の創設者であり、医療主任でもある。また、グリーンブラット博士はマサチューセッツ州ウォルサムのウォルデン行動医療病院 (Walden Behavioral Care) の摂食障害部門の医療主任を務めている。ジョージ・ワシントン大学で学位を取得し精神科研修を終えた後、グリーンブラット博士はさらにジョンズ・ホプキンス医学校で児童思春期精神医学のフェローシップを修了した。彼は現在、2013年に出版される予定の過食症と食欲異常亢進に関する三冊目の著作を執筆中である。

アイリーン・バーフォード＝メイソン 先生

Aileen Burfold-Mason PhD.

アイリーン・バーフォード＝メイソン博士は免疫学者であり、細胞生物学者であり、エビデンスに基づいた健康栄養学に造詣の深いオーソモレキュラー栄養学者でもある。博士が定期的に開催する専門家ならびに一般向けのセミナーは、「複雑な栄養学的研究を安全で効果的なエビデンスに基づいたサプリメントのガイドラインに総括する」ことで知られている。バーフォード＝メイソン博士は元トロント大学医学部病理学講師、現在はトロント総合病院コンナッハ頭頸がん研究所部長である。2004年、カナダホリスティック健康研究財団の共同創設者となり、現在にいたる。著書に「Eat well, Age better (賢く食べて、良い歳をとる)」がある。

柳澤 厚生 先生

点滴療法研究会 会長
国際統合医療教育センター 所長
スピックサロン・メディカルクリニック 理事長

杏林大学医学部卒、同大学院修了。医学博士。米国ジェファーソン医科大学リサーチフェロー、杏林大学内科講師、助教授、杏林大学保健学部救急救命学科教授を経て現職。アンチエイジングと補完代替医療を提供するスピックサロン・メディカルクリニック (院長：柳澤順子) を総監修。主に米国で点滴療法を学び、早くからキレーション療法、マイヤーズカクテル、パーキンソン病に対するグルタチオン点滴療法、ガンに対する高濃度ビタミンC点滴療法を導入、これまでに約6,000件の点滴療法の経験がある。ACAM認定キレーション治療専門医 (BPCT)、国際脈管学会フェロー (FICA)、米国心臓病学会フェロー (FACC)、日本内科学会認定医、日本医師会認定産業医、日本東洋医学会認定専門医。
スピックサロン・メディカルクリニック : <http://www.spicclinic.com>

溝口 徹 先生

新宿溝口クリニック 院長

神奈川県出身。1990年福島県立医大卒業。横浜市立大学付属病院、国立循環器センター勤務を経て、神奈川県藤沢市に溝口クリニック (現：辻堂クリニック) を開設。ペインを中心に、広く内科系疾患の診療にも従事。2000年から一般診療に分子整合栄養医学のアプローチを応用し始め、治療が困難な疾患に対する栄養療法を実践し、多くの改善症例を持つ。2003年には、日本初の栄養療法専門クリニック「新宿溝口クリニック」を開設。毎日の診療とともに、患者や医師向けの講演活動を行っている。
新宿溝口クリニック ホームページ : <http://www.shinjuku-clinic.jp/>
オーソモレキュラー.jp : <http://www.orthomolecular.jp/>